

R S T 6分野7項目〈同義文判定〉

同義文判定は2つの文の意味が同一かどうかを判定する力

「同義文判定」は、とてもシンプルです。提示された2つの文が同じ意味か、異なる意味か、ということです。一つの意味を伝える上で、文には幾通りも、理論上は無限の書き方があります。例えば、以下の2つの文はどうでしょう。

1以外の数を選びなさい。
1ではない数を選びなさい。

能動態か受動態かなど、様々な文の書き換えが考えられます。同義文判定の力が低いと、仕事がスムーズにいかないでしょう。意味を受け取り間違えるため、大変なことになるかもしれません。

同義文判定は自学自習のポイント

中学生の場合であれば、同義文判定が弱いと、自学自習が苦しくなります。問題集の記述式の模範解答と、自分の書いた解答が同義であるか否かを判定できなければ、答え合わせはできません。同義文判定ができないと、自分の答えと模範解答の字面が少しでも違うと、自分の解答を消しゴムで消し、模範解答を丸写しするようになります。

リーディングスキルテスト（R S T）の問題

では、リーディングスキルテスト（R S T）「同義文判定」の問題をやってみます。

以下の文を読みなさい。

かぜを引き起こす原因は、外からやってくるウイルスや細菌である。のどや鼻の奥にとりついて炎症を起こし、熱やせき、鼻水などの症状となって表れる。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

かぜを引き起こす原因は、外からやってくるウイルスや細菌である。熱やせき、鼻水などの症状となって表れることで、のどや鼻の奥にとりついて炎症を起こす。

- ① 同じである ② 異なる

正解は、②の異なるです。これは、普通の問題です。次は、どうでしょう。

以下の文を読みなさい。

原子に含まれる電子の数と陽子の数は等しいので、原子は全体として電氣的に中性である。上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

原子は全体として電氣的に中性なので、原子に含まれる電子の数と陽子の数は等しくなる。

- ① 同じである ② 異なる

正解は、②の異なるです。これは、難しい問題です。

私たちは、授業の中で、よく言い換えをしています。少しでも生徒に理解してもらおうと、同じ意味でも表現を変えたりしています。授業者にとっても、「同義文判定」の力は重要です。きっとわかりやすい授業の要素の一つに、この「同義文判定」の力が関わっているのではないのでしょうか。